

第4回農林公園見直しに関する懇談会議事録	
日 時	平成16年7月23日(金)午後2時～
場 所	市役所農業委員会室
出席者	委員側(12名): 藤本委員, 井熊委員, 山田委員, 増田委員, 佐藤委員, 大平委員, 菅野委員, 大塚委員, 山口委員, 高橋委員, 伊澤委員(代理), 床井委員
事務局	農務部長 他8名
発 言 要 旨	
	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員紹介(今回欠席者) <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議題</p> <p style="text-align: center;">「提言書(案)」について 事務局から, 資料に基づき説明</p> <p style="text-align: center;">- 説明後 意見交換 -</p>
会 長	資料と提言書につきまして, ご意見をいただければと思います。資料は, 第3回懇談会までに, 各委員から出されたご意見がまとめられていると考えてよろしいのでしょうか。
事 務 局	はい。今までの取りまとめです。
井 熊 委 員	提言の中で一番大事なのは, 資料にある「経営改善と新たな魅力作りを一体的に取り組む」という表現のところだと思いますが, 提言書を見ると「経営改善と管理体制の見直し」よりも, 「新たな魅力作り」や「新たな整備」の方が目立っていて, 新規投資としての色合いが強く見える感じがします。議論でも経営改善の方に重きが置かれた感じがするので, そういう所を反映した書き方をした方がいいのではないかと感じます。
事 務 局	提言書の「見直しの方向性」の所で, 「経営改善と管理運営の見直し」よりも「農林公園の新たな魅力をつくる」の方が割合が多いので, 見直したいと思います。懇談会でも経営改善の話が大部分を占めていたこともあり, 全体の構成を見直したいと思います。
会 長	今まで農林公園自体のソフト面, ハード面について議論してきましたが, どちらかといえば, ソフトの方に重きをおいた見直しの方向性を検討してきたと思います。しかし, 交通システムや宇都宮の市街地観光, 大谷も含めた周辺の観光ルートの中に位置付けて, リピーターを増やしていくという, 農林公園の広域的な位置付けについての議論もあったと

事務局	<p>と思いますが、どこに書いてあるのでしょうか。</p> <p>「経営改善と管理運営の見直し」の「経営改善」の中に、ソフト面、公益的な改革の必要性を付け加えたいと思います。</p>
会長	<p>経営改善というよりも、宇都宮のまちづくり的な発想から、農林公園を活性化していくという流れ、あるいは別に「公益的な役割」という欄を加えるのが良いのではないのでしょうか。この辺について委員の方からご意見を頂けるとありがたいのですが。</p>
山田委員	<p>市の財政負担を軽減する為の中途半端な民間活力の導入は、リスクを先延ばしにするだけなので、思い切って民間に移管するということまで大胆に市が考えているのは面白い展開だと思いますが、コスト削減だけで住民の合意が得られるかどうか、一番問題になるところです。民間活力の導入をすることによって、整備の目的・基本方針がぶれてしまうことはないのか。目的・方針に基づいて、参入する民間に対し、市がどのようなサービスをどの程度求めていくのか。民間活力を導入した後に、市が求めたサービス水準をどの程度満たしているのかのモニタリングを明確にして、整備の目的・基本方針が維持・担保されている事が明確になって、初めて住民合意が得られる気がします。こういった公益性について提言書で触れられていないと、ただ単純に、民間に移管すると捉えられる可能性がある。その点が懸念される場所だと思います。</p>
会長	<p>最後に、今後の検討課題という整理のされ方も考えられますね。</p>
事務局	<p>3セクにするのか、民間にするのかは、あくまで手段でしかなく、目的はサービス水準の向上、住民の満足度アップで、良い農林公園をつくることです。整備の基本方針にあるような、自然とのふれあいや農林業体験の提供などの目的を達成する為に、どのような改善が必要なのか。サービス水準の向上の為に、どのような手段・方法が必要なのかを今後つめていくのが、一番の問題ということです。</p>
会長	<p>提言書の最後に、今後の課題を文章化しておいた方がいいような気がします。</p>
井熊委員	<p>普通は民間に委託するときは、「運営効率」と「資金調達」、「専門性によるサービスの質の改善」の3つを大きな目標にしているので、この辺で目的がちゃんと繋がるように、唐突に見えないような書き方をした方がいいと思います。</p>
増田委員	<p>最後のまとめは文章力にかかるので、うまく表現して欲しいと思います。</p>
佐藤委員	<p>提言書の中身については異存ありませんが、ここから読み取ると、イベントに対する民間活用や「食」の施設の民間活用については、具体的にどうなっていくのでしょうか。これから考えていく事だとは思いますが、シナリオや参考になることがあればお聞かせください。</p>
事務局	<p>管理運営、事業運営のノウハウの話だと思いますが、「動物とのふれあい」で羊のショーを行うなど、定期的にイベントのメニューを決めて、地元の人達を呼んでイベントをするというようなノウハウは、他の農業公園でも色々あると思いますので、ノウハウを持っている民間を活かすこと。「食」の方では、手づくりのパンやソーセージの加工体験・料理教室の事業経験を活用し、展開する事は、十分にありうると思います。</p>
大平委員	<p>提言書自体はこれでいいと思いますが、「新たな魅力作り」の中で、「農林公園は、開園以来、一度もリニューアルを行っていない。」と書いてありますが、事実ですか。</p>

事務局	大規模なものは行ってないという事です。小規模なものは、フラワードームの中にバラ園を設けるなど行いました。
山口委員	この表現ですと、一切手をかけていないイメージを受けるので、「大幅な」を入れた方がいいと思います。もう一つは、農林公園を作る当時の計画は分かりませんが、当然このような施設はリニューアルが必要だと提言書にも書いてありますので、「定期的に施設のリニューアルが必要である。」とした方が、誤解が無くていいと思います。
菅野委員	提言書の中に色々入っているという事ですが、最後なので細かく言わせて頂きます。まず、焼肉レストラン等の不採算店舗の見直しと、陳腐化した店舗の見直しをしていただきたい。物産館については、自然の光を入れているという事だが、全体的に薄暗く、新鮮な商品も新鮮に見えないので、照明アップをお願いしたい。宇都宮市は「餃子・カクテルの街」として全国的に認められているが、園内に餃子の専門店がないので、専門店や来っせスタイルの店舗を入れて欲しいと思います。もう一つは四季の森についてですが、近くにある森林公園との役割分担はどうなっているのでしょうか。自然観察や森林浴では森林公園にかないません。森林公園と違う方向性でいかないと駄目です。また、「四季の森」はネーミング通りになっておらず、四季らしさがないと感じました。桜、つつじ、ハナミズキなどの季節毎に花が見られる植物を植え、1、2年では出来ませんので長い時間をかけて、年に1回は訪れて花を楽しみたいと思うような山に変えていったほうがいいと思います。もう一つは、今のままでは東側にお客さんをお呼びできないので、バラやチューリップなど、季節に合わせた花と水をテーマとした、入場料を取れるような公園、安らげるような公園を作っていただきたい。また、クラインガルテンは59区画全部使っているということですが、宇都宮市民のうちの特定の59人が農業体験ができるというのでいいのかどうか。中心部を離れれば畑が余っているのだから、人が集まる場所に作るのではなく、新たに農家と無料で契約して農業体験をしてもらう方がよいのではないのでしょうか。園内の移動手段については、お金を取って一周周れるような設備、子供が喜ぶ機関車などを導入するのもいいのではないのでしょうか。また、効率化を考えると、プロパー社員をなるべく減らして、シルバー人材センターや60歳以上でもノウハウのある人はいるので、嘱託やボランティアとして来てもらうといいと思います。最後に、素人にはテーマパークのことは分からないので、農林公園の今の状態から脱皮するにはどうしたらいいかを、JR 駅東のコンペのように公募して、未来の公園のあり方を探るのも必要だと思います。
床井委員	ろまんちっく村は地元にあたりますので、色々な面で恩恵を受けている者の一人です。青空市は、地元の国本や、富屋、篠井、城山地区の人が出荷しています。運営は農協で、ろまんちっく村にテナント料を払っているわけです。最近では、件数が多くて単価が下がっている傾向があるようです。青空市では地元の人が恩恵を受けている感じです。お客さんは青空市を目当てに来る人が多く、他に行かずに帰ってしまうので、足止めをして他に廻せるような方策がとれればいいと思います。もう一つは、民間活力は必要だと思いますので、もう少しアイデアを活かして運営的なものを検討していただければと思いますが、社員の教育を徹底した方がいいと思います。
会長	出荷をされる農家の範囲はどの辺ですか。

床井委員	<p>国本，富屋，篠井あたりの宇都宮の西北部です。豊郷あたりからも見えますが，どなたでも大丈夫です。最初は70名程だったものが，今は120名ほどになりました。</p>
会長	<p>ローテーションが決まっているのですか。</p>
床井委員	<p>自由ですが，量はある程度制限してもらっています。</p>
伊澤委員(代)	<p>農協は，農林公園の中で青空市をやらせてもらっています。市民に愛され，道の途中でトイレ休憩に寄るお客さんも来てくれる。来客数も売上げも年々増加しており成功している事例です。農協の取組みとしては，JA直営型のファーマーズマーケット，地産地消という観点で直売の運営をしている。視察に行った他の多くの道の駅でも，農家の人が野菜を搬入するのを朝から待っていたり，遠くから買いに来ている人がいるのを見ると，ろまんちっく村でやっていることは時代の流れに合っているのだと感じました。この提言の中で言えば，売上げも集客力もある直売を，出来るだけ食と農のかけ橋にする。それに加えて，菅野さんの言うように，林という部分もあると思います。それに四季も大切にしないとイケません。これからの見直しにあたって，更に市民の皆さんに潤いを与えるような，スペースの効率的な利用というよりは，快適な空間作りができればいいと思います。農協にとって青空市は成功例なので，見直しの中で更に向上されればと思います。</p>
高橋委員	<p>今までの協議の中で，もっと具体的な話があったと思いますが，提言書には入ってなくて残念です。近隣地域との連携について意見があったと思いますが，現実にとどのように盛り込まれてくるのでしょうか。大谷は自然公園に入るわけですが，そういうところとの回遊性，連携の事が入っていない気がします。今は会社更生法によって色々な会社のトップが変わっていますが，現場の人達の危機感のなさが理由の一番にあげられています。やはり現場にいる従業員さんの意識があって，ハード面が活かされてくる。人的なものが大切だと思います。</p>
山口委員	<p>私も財団法人の組織の中にいるので，公益法人や第三セクターがどんなに動かないかは実感しているつもりです。経営改善もそうですが，一つ一つ専門的に突き詰めていくと，工夫すれば何とかなるものです。それを今の段階で民間に移行するというのは少し早いような気もしましたが，逆にいいのかもしれないと思い直してきました。平成9年の管理運営委託料のパーセンテージが比較的理想に近いのであれば，新たな魅力作りに対して色々挑戦する事に力を入れれば，経営改善もそれほど難しくないのではないかと思います。こういうテーマパークは全国的にお客さんが減っているので，どうしたらいいかは，誰も分からずに模索する事になると思いますが，これから農的なライフスタイルをどのようにとれるかという準備体操の場所にしてもいいと思いました。青空市もそうですが，野菜への関心が非常に高いので，ファーマーズマーケットを各地でやっていただいた方が，消費者も喜んでくれると思いますし，むしろ生産者の方が喜んでということもあります。ですから，魅力作りの方に力を入れていただければと思います。ただ，高橋委員がおっしゃったように，現場の人の気持ちと接客の態度も含めなければ，いくら整備しても，交通が良くても，お客さんは来てくれません。そこだけおさえおけば，そんなに難しいことではないかもしれませんが。民間と連携し，勉強して，公益的な所まで出来るようになればいいと思います。</p>

大塚委員	<p>市の財政負担の削減を図るという目的で、民間に託していきたいという事だと思いが、農業体験や宿泊施設、テーマパーク的な要素もある、「ろまんちっく村」という施設に、これだけたくさんの注文が出ていると、これを一括して経営を委託されてやっていく民間企業には、どういうところがあるのでしょうか。今まで出てきた意見がそのまま反映されるような組織を選ぶのにあたって、どういう選択をしていくのかを見守っていききたいと思います。</p>
会長	<p>各委員に意見を伺いましたが、関連して補足したいことやご意見はありますか。</p>
山田委員	<p>先程、目的と基本方針に沿ったモニタリングの話をしました。その前の段階の目的と基本方針について、意見がいくつか出ています。宇都宮の中心市街地の基本計画や、市街地観光というところから見ますと、観光という視点から「大谷」や「ろまんちっく村」を中心とした観光資源を活かしていくという観点は確かにあると思います。そういう意味では「ろまんちっく村」は核施設の一つだと思いますので、観光資源としての位置付けも、抜いてはいけないのではないのでしょうか。あるいは、将来、「ろまんちっく村」の位置付けが観光の中心施設であるという視点は、残しておくべきだと思います。マーケティングの観点から言うと、今後の社会を考えて、若者よりも高齢者や女性に焦点を当てるべきだと思います。農林公園で若者が遊ぶというよりは、高齢者や女性に体験して遊んでいただいたり、美味しい野菜を買っていただく方に、より重きを置くべきことなのかなと思います。提言書の中に加えていただきたい部分はそういうところ。3つ目に、道の駅の青空市で売っている農業者99人のアンケートを見ると、一番売っている方の年商は1,100万円だそうです。そういう方が出てきています。農業の育成という観点で見ますと、青空市の果たす役割は大きいと思いますので、民間に移行したとしても、核施設・核機能として農業振興上重要だと思います。集客力もあるものですし、重要視していただきたい。</p>
佐藤委員	<p>この提言書が出来上がった際には、どのように活用されるのですか。</p>
事務局	<p>市の内部の「見直し検討委員会」の中で、この提言書を活かして、今後の見直しの方向性や具体的な内容をつめ、改善計画を作る予定です。</p>
佐藤委員	<p>今までの会議の中で出た、行動に移せるような具体的な案が、日の目を見ないのはもったいないと思います。出来上がった提言書に対し、事業計画を作るのもいいですが、現場の方々の意識という点を考えると、この総論を元にどうしたら改革できるのか、どう行動に移していけばいいのか、「食」について、「農」について、「イベント」については是非考えて提言してもらう事を現場にもやっていただいた方がいいのではないのでしょうか。もう一つ、イベントについてですが、民間にも貸していただけますよね。青年会議所時代に何度か使わせていただきましたが、イベントをやりたいと思っている団体や、場所探しや費用の問題でなかなか自分たちでイベントが出来ない団体も結構あると思います。逆に、市にお世話になっている団体には、定期的なイベントの開催を要請した方がいいと思います。市の為に公益団体として、組織としてやるという発奮材料になると思います。人を集めるのにはイベントが一番です。365日イベントをするのは難しいので、恒常的な仕掛けを作らないといけない。宇都宮は、餃子とジャズとカクテルの街ですので、そういうところに声をかけてもいいのではないのでしょうか。ご検討いただければと思います。</p>

菅野委員	土日に来ている方は、ほとんどの方がお子様連れと、年齢は50代から60代の退職されて奥様と一緒に歩いている方、もう一つの特徴は、家族連れで孫と一緒に来ているという状況が見えます。平日の昼間に時間があってお金があるのは、シルバー世代の奥様方です。なぜ「ろまんちっく村」に来られないかということ、運転免許がなく行動範囲が限られているという事なので、車がない人の来園手段の問題をカバーしてあげないといけません。関東自動車さんが1日に何回か来ていますが、こういうものではなく、一定の人数が集まれば、マイクロバスで迎えに行くサービスをして人を集める。月曜から金曜は閑散としているのだから、こちらから仕掛けをして、シルバー世代の人の余暇を守るのが、市の役割ではないでしょうか。
事務局	PRが足りないかも知れませんが、飲食などで20人以上集まれば、無料で市内を往復する送迎バスはやっています。それで地ビールをどんどん飲んでもらう。
会長	市のバスを使ってですか。
事務局	民間に委託をして、その費用は「ろまんちっく村」が負担しています。
山口委員	PR不足だと思います。
会長	先程申し上げた公益的な位置付けも、情報サービスと関係していますね。
高橋委員	無料バスが巡回しているとありがたいです。「元気あつぷ村」にもバスを使って行ってみたのですが、あちらも大変不便で、3時以降バスはありません。「ろまんちっく村」はかろうじて関東バスが走っていますが、交通費も大きいので、無料バスやワンコインバスになればもっと使っていただけたらと思います。
事務局	来園手段の問題は内部でも検討していますが、近くにある老人福祉センター「ふれあい荘」の専用無料バスを大谷を経由して、「ろまんちっく村」へ伸ばそうと思っています。「ふれあい荘」利用者以外は有料になるかもしれません。こういうものも、どんどんやっていく必要があると思います。
井熊委員	提言書の構成については、ここまでやってきた成果ということもあり、肯定的な意見も出ています。宇都宮市も3億円をつぎ込んでいるわけなので、説明性があり、農林公園の継続、活性化の必要性を明記してから話を展開した方がいいと思います。公益性の位置付けがありましたが、全体の中でどういう位置付けになっているのか、どういう機能を備えていくべきなのかをうたった上での方が、意見がはっきりすると思います。
会長	大体ご意見は出尽くしたという事でよろしいでしょうか。最終的な提言書につきましては、会長と事務局の方で整理させていただきまして、市長へ渡すという段取りで、こちらにお任せいただいてよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
会長	ありがとうございます。では、提言書を市長にお渡しする日程、方法について、事務局からお願いします。
事務局	8月の上旬を予定しておりますが、日程については調整させていただきたいと思います。
会長	では、皆様を代表して、事務局案の通り提言をさせていただきたいと思います。最後に、「4.その他」という事で、何かご発言がございましたらお願いしたいと思います。
会長	特に無ければ事務局の方から何かありますか。

事務局 会長	特にありません。
	<p>それでは、以上で本日予定された議題は全て終了しました。本日が最終の懇談会という事で、会長として委員の皆さまにお礼を申し上げたいと思います。今年3月の第1回会議から本日まで、委員の皆さまのご協力の下に当懇談会を無事終了することができました。心からお礼申し上げます。これまで農林公園の経営改善や運営の見直しにつきまして、委員の皆さまから、熱心で活発なご意見を賜りまして、厚くお礼を申し上げます。本日ご審議いただきました提言につきましては、皆さまを代表し、市長にお渡しいたします。最後になりますが、私たちの提言した内容を踏まえて、より多くの人に愛される農林公園になることを期待しましてお礼の言葉とさせていただきます。ご協力誠に有難うございました。</p>
事務局	ありがとうございました。
市長	市長よりお礼のあいさつ
事務局	<p>それでは、以上を持ちまして、農林公園見直しに関する懇談会を終了します、長きにわたるご審議、ありがとうございました。</p>
<p>～ 閉 会 ～</p>	